

郷の月光

松下 幹生

残照の後 月の光りが
凧の湾内 海面を照らす
ふるさとの 丘の上から 眺めれば
子供の頃の 思い出が…

幼馴染の 悪ガキどもが
蛍見つけに 集まった時
見下ろした 水面に写る 月影に
思わず見とれ 声も出ず…

入江をはさむ 黒い山肌
その真上には 満天の星
ふるさとの 夜空は今も 変わらず
郷を明るく 照らし出す…

丘の上から 月食を見た
月が端から 欠けてく様を
仲間らと 幼い胸に 刻みつつ
天の不思議に 想い馳せ…

月の中には ウサギの姿
そんな形に 広がる想い
月の影 ロマン漂う 空想に
神秘の世界 垣間見る